令和元年 8 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行） Vol.59 No.8 通巻 779 ISSN 2186-2664 Print ISSN 0385-6658

社会人のための情報システム誌
－経営近代化のシステム研究－
Computer Report 8
２０１９No.779

３　はじめの言葉

４　情報社会を考える　その 107

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか　　編集部

朝鮮半島の危うさ

我が国の近隣周辺国家事情が、かなり緊迫かつ流動的になっている。ひとつには朝鮮半島情勢である。我が国にとっては、北による邦人拉致事件が一向に進展しない焦燥感が漂っている中で戦後、比較的良好な国家関係にあると考えてきた韓国が、文在寅体制になって一気に戦後の日韓関係を崩壊させる状態になっている。河野太郎外部大臣をして「韓国が国内の判決を理由に、国際法違反の状況を放置しておくことは国際的にも許されない。韓国政府が今行っていることは第 2 次世界大戦後の世界秩序を根底から覆すものに等しい」と言わしめているのは周知の通り。こうした状況／成り行きは、決して偶発的／偶然なものではない。文在寅政権の意図して起こされたものである。北朝鮮出身だという出自の文大統領が悲願として起こした行動の一環なのである。彼の悲願の前には、日韓両国が戦後 70 年余にわたって積み重ねてきた努力も成果も何の意味もなかったということだろう。

６　デジタルガバメント DG19

デジタル政府の展開　　その 17　　水田　浩

デジタル化は人々の生活の質を向上させる。 2018 年 1 月 16 日に日本政府もデジタルガバンメント実行計画を e ガバンメント閣僚会議で決定した。この計画は､28 年 1 月 16 日から 2023 年 3 月 31 日までの計画である。 2018 年上半期を目途に各府省庁における中長期の戦略的な計画を策定をする。電子政府は ICT を使って政府側から国民に行政サービスをより早く、より安く、より良くするのが目的だがデジタルガバンメントは顧客（国民、企業、職員）側から政府の行政サービスを探し易く、繋がりやすく、何時でも何処からでも誰でも使えることを目的としている。

１４　連載　アーキテクチャ論　（ 100 ）

デジタル変革の動向

山本修一郎
国立大学法人 名古屋大学　大学院 情報学研究科　教授

本稿で、この連載も 100 回になった。ここまで継続できたことを皆さんに感謝したい。

今回は、デジタル変革の背景にある、 IT イノベーションの波と、企業の成長とデジタ

ル戦略の関係について解説する。

２０　連載　情報システム考

企業情報システムの変遷と行方　　第 23 回　　Dr.ベスト

昨今、クラウド、ビッグデータ、 AI などをベースとした情報システムが社会的規模で普及する中、それらのシステムを各企業規模すなわち自社（社員）レベルでコントロールできない状況へと進展している。換言すれば、「情報システムのコントロール不可、すなわちアウトソーシング依存現象」である。企業にとって情報システムは、企業の神経／血液そのものであり、コンサルタントや弁護士に限定された範囲での業務を委託したり、物流や警備をアウトソーシングするような対象のものではないはずである。

２５　IT 新時代とパラダイム・シフト

第 117 回　「れいわ新選組」旋風は
ネット後進国日本に風穴を開けたか？　　根本忠明

我が国は 2013 年にネット選挙が解禁になった。しかし、メール禁止など制約が大きく TV 報道など従来メディアと比べ選挙への影響は限定的で、現在もなおネット後進国に止まっている。一方、 2019 年の第 25 回参院選において、街頭演説とネット選挙を巧みに融合した「れいわ新選組」が大きな旋風を巻き起こした。今回は、近年のマスメディアとネットメディアの動向、「れいわ新選組」の選挙活動の 2 つについて報告する。

２７　続インテリジェンスへのいざない　114

情報共有の難しさと思惟的情報選択　　今井　武

最近の日韓関係は、目を覆うばかりに悪くなっている。そんな中、我々日本人としては得られる情報からだけでは、あまりに理不尽な主張をしてきている韓国を理解し切れていないという印象をぬぐい切れない。だが、一方の韓国の人々から見れば、日本の側の方が理不尽な主張をしているということになるのだろう。すなわち、日韓の間で正しい情報が共有されていないのではないかと危惧せざるを得ない。と同時に、日韓だけではなく日米など多くの国と国の間で、相互の国民同士が、情報の共有ができていないのではないかと思ってしまうわけだ。だが、其々の国で開示される情報に大きな差があるわけではない。確かに、ある人が「実は・・・」と、我々国民が知らなかった事実を述べることによって人々の意識が左右されることはあり得る。

２９　連載　「まるで漫画」シリーズ　　すぎやまチヒロ

（毎週アップデートされる「まるで漫画シリーズ」　ホームページをご覧下さい。）

案内／お知らせコーナー

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介致します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

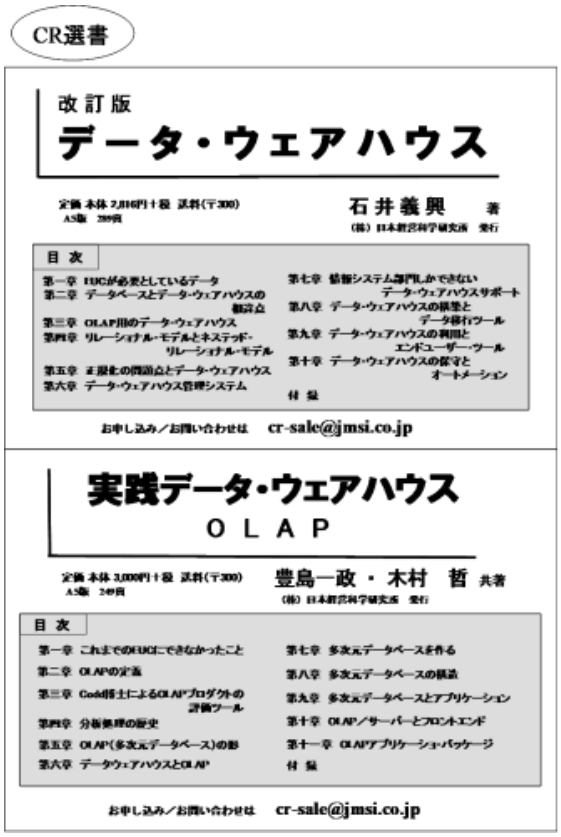
リポジトリーベースのシステム資源管理

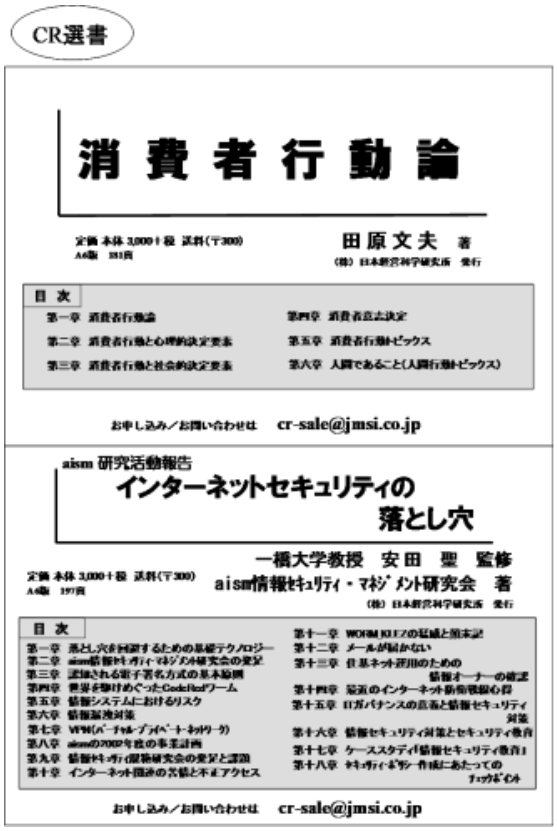
その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

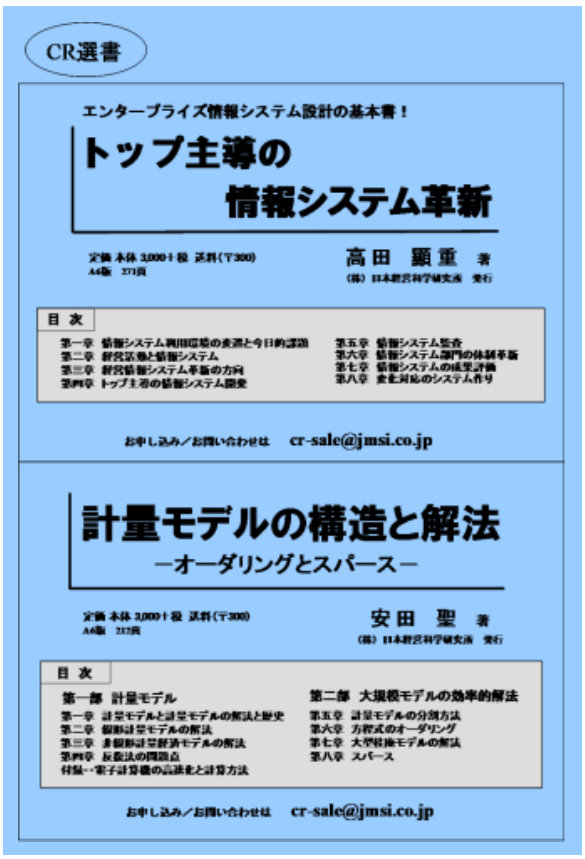
など 各種カウンセリングも承ります

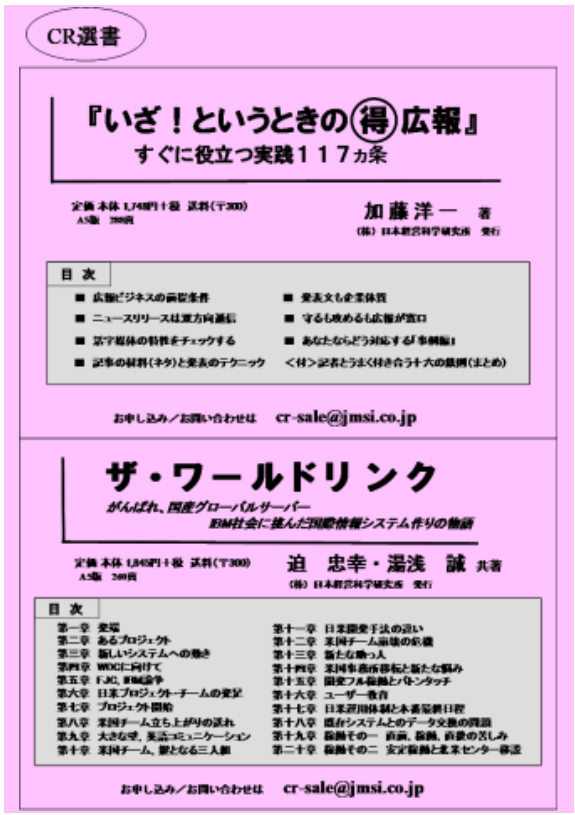
ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部
cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内


CR選書
改訂版
データ・ウェアハウス
定価 本体 2,816円＋税 送料(〒300)
A5版 289頁
石井義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行
目次
第一章 EUCが必要としているデータ
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの概念点
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス
第六章 データ・ウェアハウス管理システム
第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスサポート
第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザー・ツール
第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
付録
お申し込み／お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp
実践データ・ウェアハウス
OLAP
定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)
A5版 249頁
豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行
目次
第一章 これまでのEUCにできなかったこと
第二章 OLAPの定義
第三章 Codd博士によるOLAPプロダクトの評価ツール
第四章 分析処理の歴史
第五章 OLAP(多次元データベース)の形
第六章 データウェアハウスとOLAP
第七章 多次元データベースを作る
第八章 多次元データベースの構造
第九章 多次元データベースとアプリケーション
第十章 OLAP／サーバーとフロントエンド
第十一章 OLAPアプリケーショ・パッケージ
付録
お申し込み／お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp


CR選書
消費者行動論
定価 本体 3,000＋税 送料(〒300)
A6版 181頁
田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行
目次
第一章 消費者行動論
第二章 消費者行動と心理的決定要素
第三章 消費者行動と社会的決定要素
第四章 消費者意志決定
第五章 消費者行動トピックス
第六章 人間であること(人間行動トピックス)
お申し込み／お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp
aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴
一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マネジメント研究会 著
定価 本体 3,000＋税 送料(〒300)
A6版 197頁
(株) 日本経営科学研究所 発行
目次
第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー
第二章 aism情報セキュリティ・マネジメント研究会の発足
第三章 認証される電子署名方式の基本原則
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム
第五章 情報システムにおけるリスク
第六章 情報漏洩対策
第七章 VPN(バーチャル・プライベート・ネットワーク)
第八章 aismの2002年度の事業計画
第九章 情報セキュリティ環境研究会の発足と課題
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス
第十一章 WORM KLEZの猛威と顛末記
第十二章 メールが届かない
第十三章 仕基ネット運用のための情報オーナーの確認
第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第十五章 日ガバナンスの意義と情報セキュリティ対策
第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第十八章 セキュリティ・ポリシー作成にあたってのチェックポイント
お申し込み／お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp


CR選書
エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新
定価 本体 3,000＋税 送料(〒300)
A6版 271頁
高田 顕重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行
目次
第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題
第二章 経営活動と情報システム
第三章 経営情報システム革新の方向
第四章 トップ主導の情報システム開発
第五章 情報システム監査
第六章 情報システム部門の体制革新
第七章 情報システムの成果評価
第八章 変化対応のシステム作り
お申し込み／お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp
計量モデルの構造と解法
―オーダリングとスパース―
定価 本体 3,000＋税 送料(〒300)
A6版 212頁
安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行
目次
第一部 計量モデル
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史
第二章 線形計量モデルの解法
第三章 非線形計量経済モデルの解法
第四章 反復法の問題点
付録 電子計算機の高速化と計算方法
第二部 大規模モデルの効率的解法
第五章 計量モデルの分割方法
第六章 方程式のオーダリング
第七章 大型経済モデルの解法
第八章 スパース
お申し込み／お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp


CR選書
『いざ！というときの㊕広報』
すぐに役立つ実践117カ条
定価 本体 1,748円＋税 送料(〒300)
A5版 288頁
加藤洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行
目次
■ 広報ビジネスの前提条件
■ ニュースリリースは双方向通信
■ 活字媒体の特性をチェックする
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック
■ 発表文も企業体質
■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ あなたならどう対応する「事例版」
<付>記者とうまく付き合う十六の鉄則(まとめ)
お申し込み／お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp
ザ・ワールドリンク
がんばれ、国産グローバルサーバー
IBM社会に挑んだ国際情報システム作りの物語
定価 本体 1,845円＋税 送料(〒300)
A5版 260頁
迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行
目次
第一章 発端
第二章 あるプロジェクト
第三章 新しいシステムへの動き
第四章 WOCに向けて
第五章 FJC、IBM論争
第六章 日米プロジェクト・チームの発足
第七章 プロジェクト開始
第八章 米国チーム立ち上がりの送れ
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション
第十章 米国チーム、鍵となる三人組
第十一章 日米開発手法の違い
第十二章 米国チーム前後の紛糾
第十三章 新たな動っ人
第十四章 米国事務所移転と新たな悩み
第十五章 開発フル稼働とパトンタッチ
第十六章 ユーザー教育
第十七章 日米運用体制と本番最終日程
第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第十九章 稼働その一 直前、稼働、直後の苦しみ
第二十章 稼働その二 安定稼働と北米センター移設
お申し込み／お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp